

倫理委員会認定 医療機関向け虐待対応啓発プログラム
BEAMS (ステージ1・2) 研修会のお知らせ

児童虐待対策委員会 family support team : 小児科 和田芳郎

虐待医学は、重要な医学領域であるにも関わらず、医療従事者に対する教育や正しい情報リソースは未だ限られております。“BEAMS”とは、日本子ども虐待医学会がサポートする、医療機関に従事する全ての方々を対象とした、基本知識と初期対応ノウハウについてのプログラムです。“子ども虐待”の関与が疑われる事例には、個人ではなく、チームで関わるのが重要です。その為には、職種を問わず、最初に対応するであろう方々に、正しい知識を持っていただくことが大切です。

土曜日の午前中ですので、ご都合のつかない場合もお在りかとは存じますが、特に小児科、産科、救急を担当される先生方、看護師、MSW等の子どもの診療にあたる医療機関スタッフには、是非“子ども虐待対応への処方箋”とも言うべき本研修へのご参加をお願いする次第です。

記

～ 医療機関向け虐待対応啓発プログラム BEAMS (ステージ1・2) 研修会 ～

日時 2019年12月14日(土) 9:30～12:30

場所 りんくう総合医療センター教育研修棟3階 第1会議室

講師 京都第一赤十字病院 救急科副部長 安 炳文 先生

受講料 500円

以上

りんくう総合医療センター BEAMS Stage1・Stage2

日時:2019年12月14日(土) 9:30~12:30(受付9:00~)

場所:りんくう総合医療センター 泉州南部卒後臨床
シミュレーションセンター(サザンウィズ)3階 第一会議室

Stage 1:

すべての医療関係者

BEAMS for All Medical Personnel

このStageは、受講者が虐待の早期発見と通告の意義を理解し、医療機関でのSentinel(歩哨・見張り番)として適切な行動がとれるようになることが目標です。

Stage 2:

CPTメンバー・小児科医

BEAMS for Pediatrician and CPT members

このStageは、受講者が被虐待児の安全を担保し地域へ繋げ、医学診断をネットワークに的確に提供出来るようになることが目標です。

小児に接する機会のある**医療関係者向け**の虐待対応のプログラムです
BEAMSの受講を修了していない方を優先に募集いたします【**募集人数60名**】
参加費用:500円(資料代込)

講師:京都第一赤十字病院 第二救急科 部長 安 炳文 先生

申込み受付期間 11月15日~11月30日
12月5日まで

(※募集人数に達しますと締切ります)

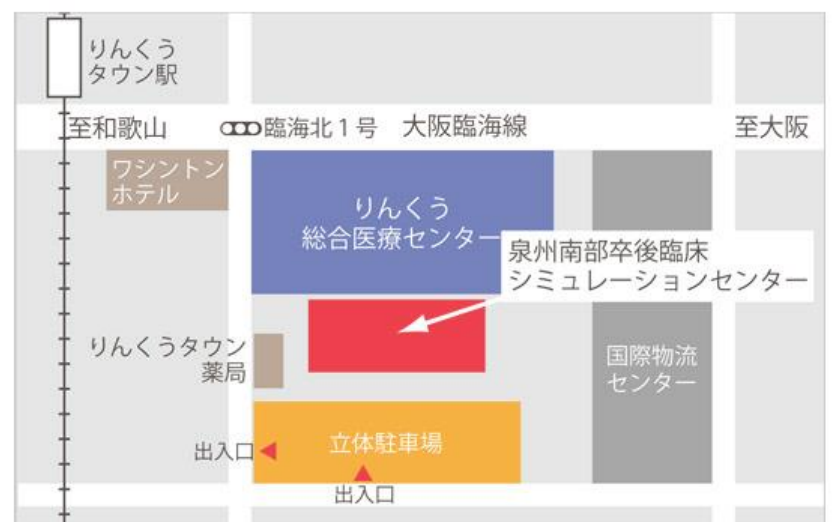
申込みは案内ページgoogleフォームから
http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/wp/wp-content/uploads/2019/11/191214_BEAMS.pdf



もしくは、下記のお問合せへ

- ①施設名
 - ②お名前
 - ③業種(医師・看護師・MSW・その他)
 - ④受講希望(BEAMS1・BEAMS2両方、BEAMS1のみ)
- をお送りください。(スマートフォンはメールの設定により、未着となることもありますので、できるだけPCか、上記のフォームでお申し込みください)

お問合せ:t-mizukami@rgmc.izumisano.osaka.jp



※駐車場の割引はございません